

SYLLABUS

シラバス

令和8年度後期

理学療法士科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

理学療法士科 教育課程（令和8年度後期）

3年次

科目名	単位数	時間数	学年	時期	科目名	単位数	時間数	学年	時期
倫理学	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅰ	1	30	1	後期
物理学	1	15	1	前期	理学療法評価学Ⅱ	1	30	1	後期
統計学	1	15	1	前期	理学療法評価学Ⅲ	1	30	1	後期
生物学	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅳ	1	30	2	前期
医学英語	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅴ	1	30	2	前期
保健体育Ⅰ	1	30	1	前期	理学療法評価学Ⅵ	1	30	2	前期
保健体育Ⅱ	1	30	1	後期	運動療法学Ⅰ	1	30	2	前期
情報処理演習	1	15	1	前期	運動療法学Ⅱ	1	30	2	前期
コミュニケーション論	2	30	1	後期	物理療法学Ⅰ	1	30	2	前期
キャリア教育Ⅰ	2	30	1	前期	物理療法学Ⅱ	1	30	2	後期
キャリア教育Ⅱ	1	15	3	前期	日常生活活動学Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学Ⅰ	2	60	1	前期	日常生活活動学Ⅱ	1	30	2	後期
解剖学Ⅱ	1	30	1	後期	装具学	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅰ	1	15	1	前期	義肢学	1	30	2	後期
解剖学演習Ⅱ	1	30	1	前期	運動器系理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅲ	1	30	1	後期	運動器系理学療法学Ⅱ	1	30	2	後期
生理学Ⅰ	1	30	1	前期	内部障害理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
生理学Ⅱ	1	30	1	後期	内部障害理学療法学Ⅱ	1	30	2	前期
生理学Ⅲ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
運動生理学演習	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅱ	1	30	2	後期
運動学Ⅰ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅲ	1	30	2	前期
運動学Ⅱ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅳ	1	15	2	後期
運動学Ⅲ	1	30	1	後期	小児理学療法学	1	30	2	後期
人間発達学	1	30	1	前期	スポーツ障害理学療法学	1	30	2	後期
内科学Ⅰ	1	30	1	後期	疼痛理学療法学	1	30	2	後期
内科学Ⅱ	1	30	2	前期	理学療法臨床技能演習	1	30	2	後期
臨床心理学	1	30	1	前期	地域理学療法学総論	1	30	2	後期
精神医学	1	30	2	後期	生活環境学	1	30	2	後期
整形外科Ⅰ	1	30	2	前期	地域理学療法学各論	1	30	3	後期
整形外科Ⅱ	1	30	2	後期	臨床実習Ⅰ	1	45	1	後期
神経内科学Ⅰ	1	30	2	前期	臨床実習Ⅱ	3	135	2	後期
神経内科学Ⅱ	1	30	2	後期	臨床実習Ⅲ	7	315	3	前期
小児科学	1	15	1	後期	臨床実習Ⅳ	7	315	3	後期
一般臨床医学Ⅰ	1	30	2	前期	臨床実習Ⅴ	2	90	3	前期
一般臨床医学Ⅱ	1	30	2	後期	理学療法特論Ⅰ	1	30	1	前期
病理学概論	1	30	1	後期	理学療法特論Ⅱ	1	30	1	後期
臨床栄養学	1	15	2	前期	理学療法特論Ⅲ	1	30	2	前期
臨床薬学	1	15	2	前期	理学療法特論Ⅳ	1	30	2	後期
公衆衛生学	1	30	1	後期	総合理学療法学演習Ⅰ	3	90	3	前期
社会福祉学	1	30	1	後期	総合理学療法学演習Ⅱ	3	90	3	後期
リハビリテーション概論	1	30	1	前期					
リハビリテーション医学	1	30	2	後期					
理学療法概論Ⅰ	1	30	1	前期					
理学療法概論Ⅱ	1	30	2	前期					
臨床運動学	1	30	2	前期					
基礎理学療法学演習Ⅰ	1	30	1	後期					
基礎理学療法学演習Ⅱ	1	30	2	後期					
理学療法研究論	1	15	3	後期					
理学療法管理学Ⅰ	1	15	1	後期					
理学療法管理学Ⅱ	1	15	2	後期					

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法研究論		講義	小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
・ 理学療法学研究を行うための方法を理解する。 ・ 理学療法研究を実践する上で必要な研究倫理、研究の流れ、研究方法の基礎を理解する。 ・ 研究に関連する国家試験問題を解くことができる。				
授業の到達目標				
・ 理学療法における研究の意義、目的について説明できる。 ・ 研究倫理の基礎と基本的な統計用語、検定法を説明でき、研究論文を理解するための基礎を習得する。 ・ 国家試験問題に対応できる。				
授業計画				
回	内容			
1	研究の意義・EBM、EBPT			
2	医療倫理			
3	研究方法の分類、エビデンスレベル			
4	研究・統計分野の基礎用語・解説①			
5	研究・統計分野の基礎用語・解説②			
6	研究方法に適した統計手法の選定			
7	感度・特異度、陽性的中率、陰性的中率			
8	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト	100%	講義中に小テストを実施する		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
リハビリテーション統計学（15レクチャーシリーズ）		対馬榮輝	中山書店	
自由記載				
備考				

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学各論		講義	小堀 博史・福林 加奈子・山本 克己・藤田 愛・大西 美緒・村上 隆太郎・小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
我が国が直面している最大の課題は少子高齢化である。社会の変化に伴い理学療法においても地域リハビリテーションに基づく地域理学療法のあり方が問われている。本講義では、実際の地域リハビリテーション分野の臨床の講師による講義を行い、2年次に学習した地域理学療法学総論を基に、より深い知識の修得と、地域リハビリテーションの担い手としての理学療法士の役割をより理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 地域理学療法の各分野の特徴と理学療法士の役割を理解できる。 2. 高齢者や障害者の生活を深く知り、地域リハビリテーションチームの中の理学療法士の役割を理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域ケアセミナー			
2	地域ケアセミナー			
3	地域ケアセミナー			
4	地域理学療法の基礎知識			
5	介護保険について			
6	行政における理学療法士の役割・意義について			
7	介護予防、地域包括ケアシステムについて			
8	介護老人福祉施設における理学療法(1)			
9	介護老人福祉施設における理学療法(2)			
10	地域リハビリテーションと起業、デイサービスについて(1)			
11	地域リハビリテーションと起業、デイサービスについて(2)			
12	在宅での高齢者の看護とリハビリテーション(1)			
13	在宅での高齢者の看護とリハビリテーション(2)			
14	障害者施策の中での理学療法士の役割(1)			
15	障害者施策の中での理学療法士の役割(2)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	80%	感想文・課題。 評価基準は別途示す。		
小テスト				
その他	20%	講義やワーク、体験に対して取り組む姿勢を評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	随時資料を配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
状況や日程調整などにより内容が前後することがあります。				

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅳ		実習	坂東 恵美子・福林 秀幸・前川 加奈 小林 正明・谷 和真・小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
315 時間 （ 7 単位）		回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
総合臨床実習（2回目） 1回目の総合臨床実習での実践を生かし、臨床実習施設で対象者に実習指導者の指導・助言のもと基本的理学療法を実践する。また、リハビリテーションチームの一員として理学療法士としての役割や責任を理解し、多職種と連携していく大切さを認識する。				
授業の到達目標				
1. 対象者の病期・背景をふまえ障害像を把握しその理由について説明できる。 4. 理学療法の治療効果を確認し、その内容について説明できる。 2. 対象者の治療目標および治療計画を立案し、その根拠について説明できる。 5. 多職種と関わり、チーム医療についての重要性を説明できる。 3. リスク管理を行いながら患者さまの治療を実践する。				
授業計画				
回	内容			
	臨床実習前評価 5時間			
	施設実習 1週目	280時間		
	施設実習 2週目			
	施設実習 3週目			
	施設実習 4週目			
	施設実習 5週目			
	施設実習 6週目			
	施設実習 7週目			
	学修時間	28時間		
	臨床実習後評価	2時間		
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	実習内容、臨床実習前後評価等総合的に評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
実習前に配布する手引きを熟読したうえで、実習に臨み真摯に取り組むこと。 課題以外にも自分が知識不足、技能不足と思ったことは自己研鑽すること。				

令和8年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
総合理学療法学演習Ⅱ	講義・演習	坂東 恵美子・福林 秀幸・前川 加奈・小林 正明 谷 和真・小堀 博史・田中 靖人	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
90 時間 （ 3 単位）	45 回	3 年次	後期
授業の目的・概要			
国家試験に合格するために各分野の特別講義と演習を通して知識の再確認を行う。 障がい者スポーツの取り組みについて知る。			
授業の到達目標			
グループで学習・演習を行うことで、グループ全員が知識を共有する。国家試験に合格するためにするため理学療法基礎分野・専門分野の知識を獲得する。 障がい者スポーツについて理解する。			
授業計画			
回	内容		
1	分野別特別講義（1）	31	専門基礎分野小テストと振り返り
2	分野別特別講義（2）	32	グループ学習
3	分野別特別講義（3）	33	グループ学習
4	分野別特別講義（4）	34	グループ学習
5	分野別特別講義（5）	35	グループ学習
6	分野別特別講義（6）	36	グループ学習
7	分野別特別講義（7）	37	グループ学習
8	分野別特別講義（8）	38	グループ学習
9	分野別特別講義（9）	39	グループ学習
10	分野別特別講義（10）	40	グループ学習
11	分野別特別講義（11）	41	グループ学習
12	分野別特別講義（12）	42	グループ学習
13	分野別特別講義（13）	43	グループ学習、障がい者スポーツについて
14	分野別特別講義（14）	44	グループ学習、障がい者スポーツ実技
15	分野別特別講義（15）	45	グループ学習、障がい者スポーツ実技
16	分野別特別講義（16）		
17	分野別特別講義（17）		
18	分野別特別講義（18）		
19	分野別特別講義（19）		
20	分野別特別講義（20）		
21	グループ学習		
22	グループ学習		
23	グループ学習		
24	グループ学習		
25	グループ学習		
26	グループ学習		
27	グループ学習		
28	グループ学習		
29	グループ学習		
30	グループ学習		

科目名
総合理学療法学演習Ⅱ

成績の評価方法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	100%	数回行い、平均して60点以上を合格とする。
レポート・課題		
小テスト		
その他		
自由記載	再試験については開講学期のみとする。	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
国試の達人 運動解剖生理学編	理学療法科学会	株式会社 アイペック
国試の達人 臨床医学編	理学療法科学会	株式会社 アイペック
クエスチョンバンク 理学療法士 国家試験問題解説2026 専門問題	医療情報科学研究所	株式会社 メディックメディア
自由記載	適宜資料を配布する	
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		
備考		